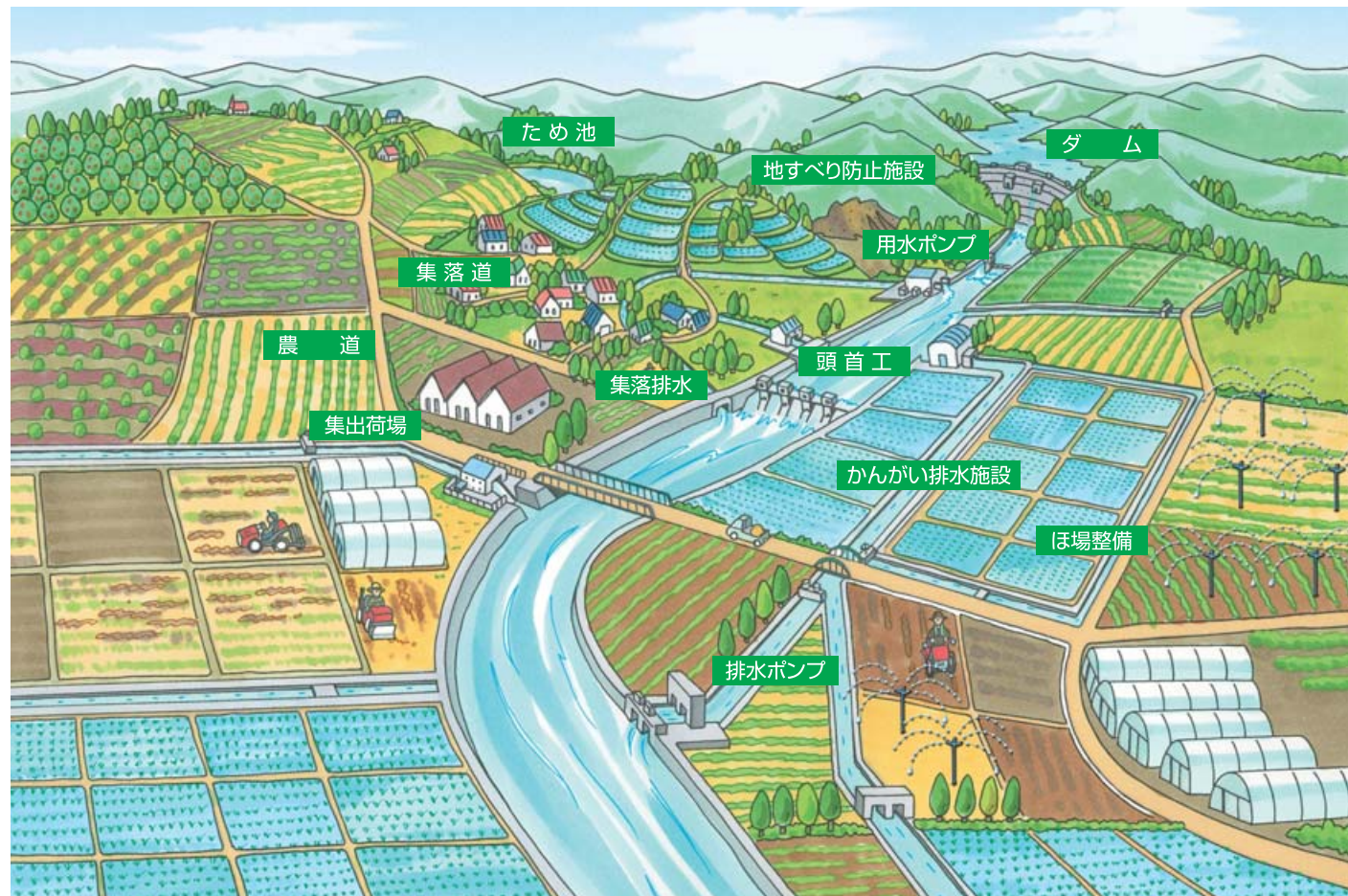


国内で安全な食料を安定供給するためには 力強い農業の実現が必要です

農業農村整備とは

農業農村整備は、水田や畑に必要な農業用水を確保するためのダムや堰、水路の建設、生産性を向上するための水田や畑の整備、農産物などの輸送を改善するための農道の整備、農村の環境整備などの事業の総称です。

安全な食料を安定供給するには、力強い農業の実現と活力ある住みよい農村づくりのための農業農村整備が必要不可欠です。



農業農村整備の3つの柱

力強い農業の実現

豊かで安心できる食生活のためには、生産性が高く安定した食料生産体制が不可欠です。そのためには、農業用水を安定的に確保し、効率的な農地を整備するとともに、農家の経営規模を拡大していく必要があります。

活力ある住み良い農村づくり

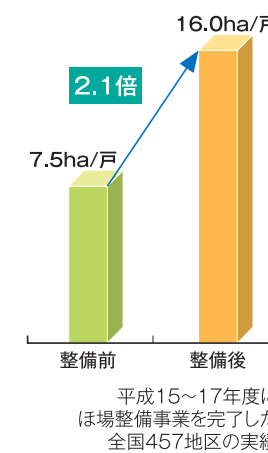
力強い農業を実現するためには、農業の担い手が居住する農村の生活環境の整備も不可欠です。また、農村地域は都市住民の憩いの場として活用されており、都市住民が快適に利用するための条件整備も必要です。

国土保全と施設の適正な管理

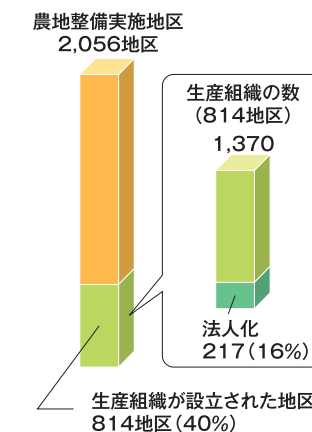
安定した食料供給のためには、地すべりや水害などから農地や農村を守る必要があります。また、ダム、水路、用排水ポンプなどを適正に管理していくことが重要です。

農業農村整備は、経営規模の拡大、生産性向上だけでなく耕作放棄防止にも大きな効果をあげています

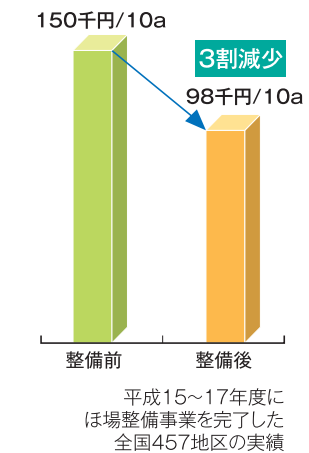
経営規模の拡大



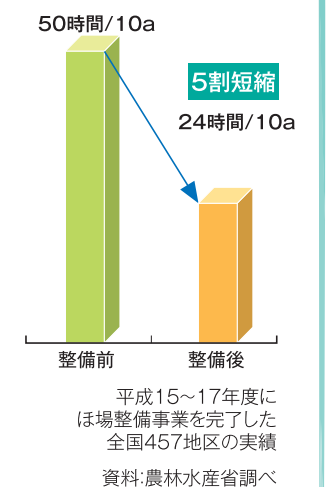
生産組織の育成(平成17年6月時点)



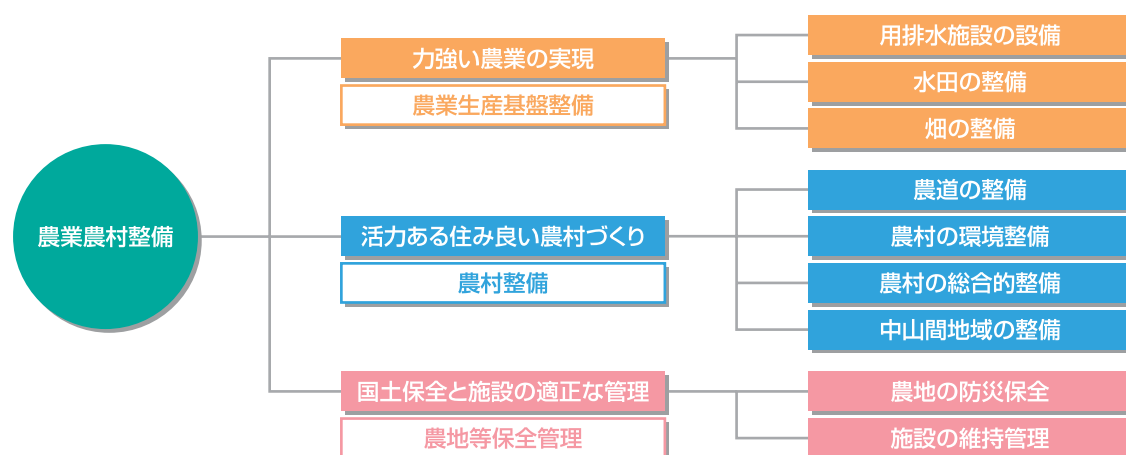
米生産コストの縮減



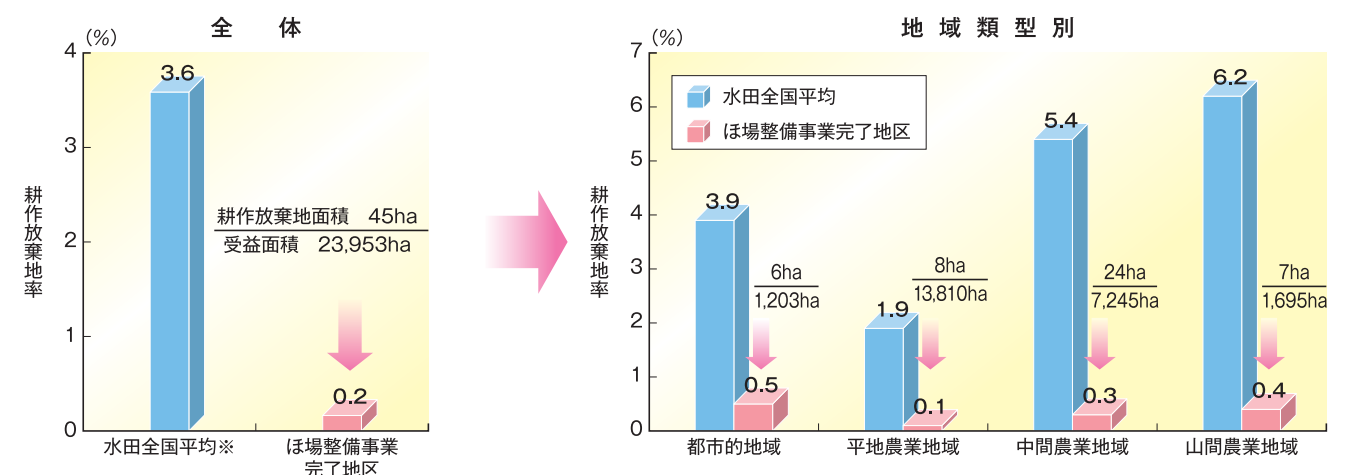
労働時間の短縮



農業農村整備の体系



基盤整備実施地区の耕作放棄防止効果



資料:平成5年度に完了した都道府県営ほ場整備事業全地区(146地区、受益面積合計23,953ha)の事業実施主体への聞き取り調査結果による
注:※は、世界農林業センサス(2000年)による水田の耕作放棄率